

ハナシノブの電照栽培

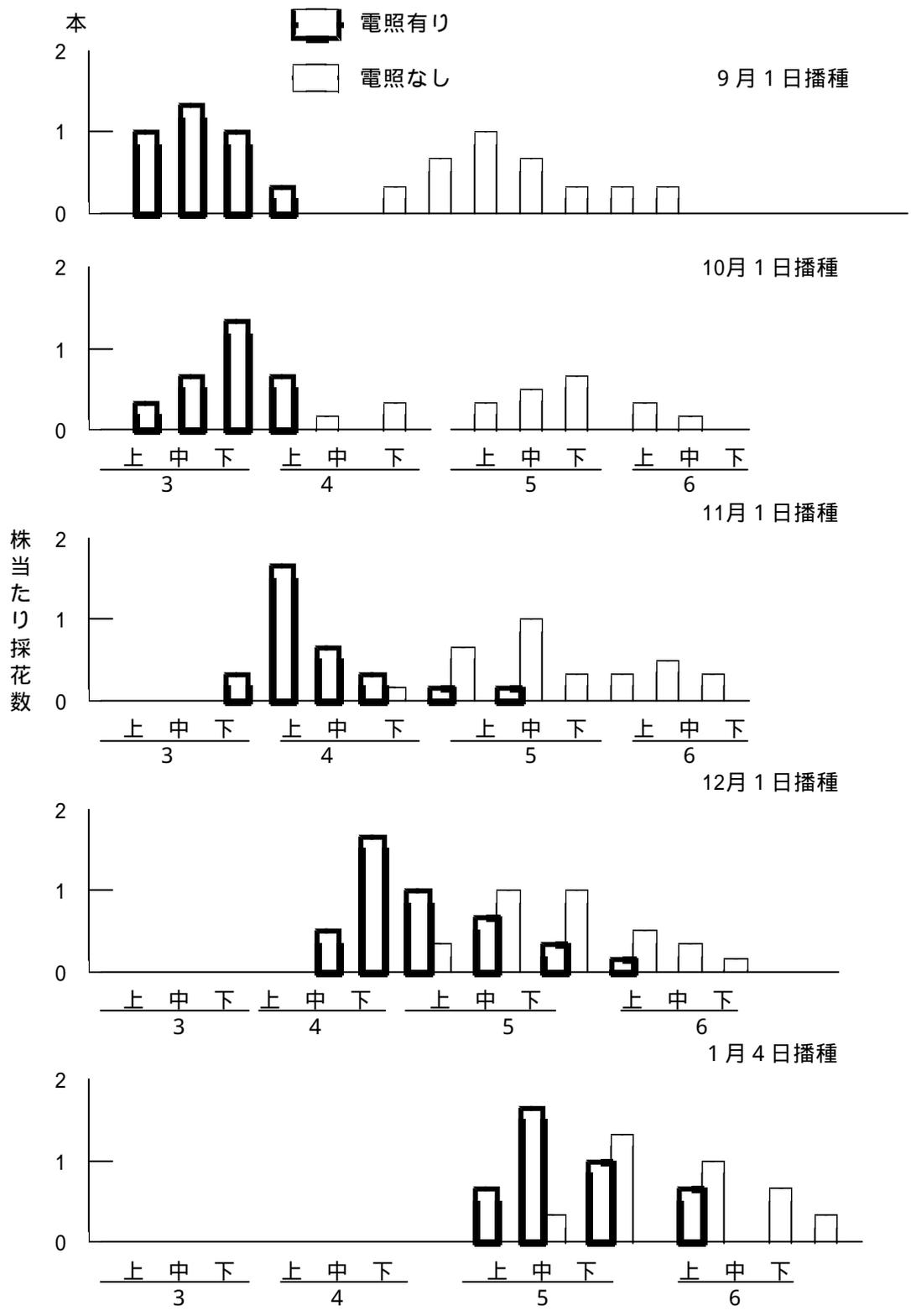
農業研究センター 高原農業研究所

研究のねらい

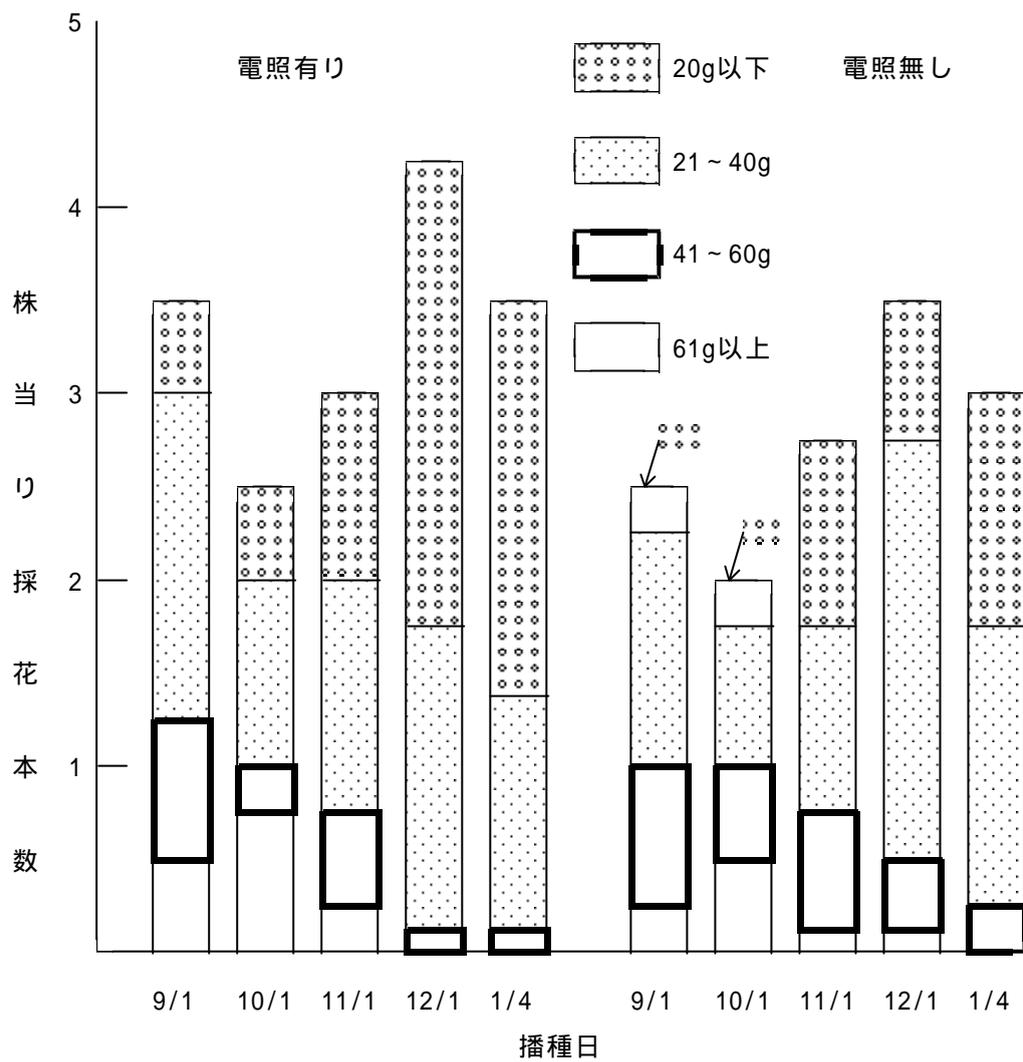
ハナシノブの自然条件下における開花期は6月頃であるが、今後特産花きとして栽培を行うには開花期の拡大が不可欠である。そこで、ハナシノブを早期に開花させ促成作型を確立する目的で、開花に及ぼす電照と播種期の影響について検討した。

研究の成果

1. 加温と電照(深夜3時間の光中断)によりハナシノブの開花期を大幅に早めることができ促成栽培が可能である。
2. 播種から100日程度が経過した後電照を開始するとただちに抽台が始まり、ボリュームのある切花が得られる。
3. 9月1日に播種し1月4日から電照を行うと3月上旬から採花が可能である。播種が遅くなるにつれ採花期は遅くなり、また切り花のボリュームもなくなる。
4. 加温だけで電照を行わない場合の採花期は4月下旬～6月下旬である。



第1図 時期別採花本数に及ぼす電照及び播種期の影響



第2図 切花重別採花本数に及ぼす電照及び播種期の影響